

事項	秋ぎく品種「神馬」の加温栽培における花芽分化開始から切り前までの適温		
ねらい	本県主力秋ぎく品種「神馬」の栽培体系の確立に向けて、加温栽培における花芽分化から切り前までの適温が明らかとなったので参考に供する。		
指導参考内容	<p>1 花芽分化開始から出蕾までの温度</p> <p>(1) 20℃加温が効率的である。</p> <p>(2) 花芽分化に必要な最低温度は13℃付近にあるので、10℃以下にしない。</p> <p>2 出蕾から切り前までの温度</p> <p>15℃加温が効率的である。</p>		
期待される効果	加温栽培における温度設定の参考となる。		
利用上の注意事項	本試験における結果は、人工気象室によるものである。		
担当	フラワーセンター21あおもり 普及技術部	対象地域	県下全域
発表文献等	平成13～14年度 フラワーセンター21あおもり試験成績概要集		

【根拠となった主要な試験結果】

1 花芽分化開始から出蕾までの生育状況（平成13年 フラワーセあおもり）

表1 20℃と25℃の比較

処理温度	入室後日数	花芽分化ステージ						入室日～出蕾日の日数	積算温度(℃)
	5日	10日	15日	20日	25日	30日			
20℃	0	2	4	6~7	—	—	22	440	
25℃	0	2	4	7	—	—	20	500	

表2 20℃と15℃の比較

処理温度	入室後日数	花芽分化ステージ						入室日～出蕾日の日数	積算温度(℃)
	5日	10日	15日	20日	24日	30日			
20℃	0	2	4	7	—	—	21	420	
15℃	0	0	2	3	5	6	(32)	480	

表3 20℃と13℃の比較

処理温度	入室後日数	花芽分化ステージ						入室日～出蕾日の日数	積算温度(℃)
	5日	9日	15日	20日	26日	30日			
20℃	0	1	4	6	6~7	—	26	520	
13℃	0	0	0	0	0	2	—	—	

表4 20℃と10℃の比較

処理温度	入室後日数	花芽分化ステージ						入室日～出蕾日の日数	積算温度(℃)
	4日	10日	16日	21日	25日	29日			
20℃	0	1	4	5~7	—	—	22	440	
10℃	0	0	0	0	0	0	—	—	

(注) 1 花芽分化ステージの番号は、岡田(1963)による

2 1回につき5本調査、その内、3本以上あったステージを記載、3本以上のステージが無い場合は、全てのステージを記載

3 ()内の数値は推定値

4 試験方法：プランターに挿し穂を直挿しして4時間の暗期中断(22:00~2:00)を行いながら約30日間栽培した後、処理温度、日長(12時間)に調整した人工気象室で試験した

2 出蕾から切り前までの生育状況（平成14年 フラワーセあおもり）

表5 20℃と25℃の比較

処理温度	調査本数	切り前到達本数					出蕾日～切り前盛期の日数	積算温度(℃)
		24日	26日	28日	32日	34日		
20℃	40	2	12	27	40	—	27	540
25℃	40	4	16	23	38	40	27	675

表6 20℃と15℃の比較

処理温度	調査本数	切り前到達本数						出蕾日～切り前盛期の日数	積算温度(℃)
		26日	29日	33日	36日	40日	43日		
20℃	58	1	30	54	57	58	—	29	580
15℃	55	0	0	17	44	52	55	35	525

表7 20℃と10℃の比較

処理温度	調査本数	切り前到達本数											
		23日	25日	27日	29日	31日	46日	49日	53日	56日	60日	63日	66日
20℃	40	0	12	29	39	40	—	—	—	—	—	—	—
10℃	40	0	0	0	0	0	1	5	17	27	36	39	40

処理温度	出蕾日～切り前盛期の日数	積算温度(℃)
20℃	29	580
15℃	35	525

(注) 1 「花の切り前」(誠文堂新光社出版)の5の時を切り前とした

2 試験方法：プランターに挿し穂を直挿しし、4時間の暗期中断を行い約30日間栽培し、その後20℃で日長12時間に調整した人工気象室に入れ、出蕾後処理温度に設定して試験した

(参考) 作期による到花日数の違い(フラワーセあおもり)

作型等	採花最盛期	到花日数	日平均気温積算(日平均温度)	備考
季咲き	10月下旬	50	873 (17.5)	H13
抑制	12月上旬	53	963 (18.2)	H14

(注) 到花日数：電照終了から開花最盛期までの日数